



山梨県立大学
Yamanashi Prefectural University

助産師になる夢を
実現させる場所が
ここに 있습니다



助産学専攻科

2026



いのちを 未来に繋ぐ 助産師を めざして

現在、助産師に求められる役割として、合併症を持つ妊婦、社会的問題・課題を有する妊産婦と家族、高齢出産する女性への妊娠中から産後までの一貫したケア、さらには、思春期から更年期・老年期の女性への支援等があり、その役割はますます大きくなっています。

山梨県立大学助産学専攻科では、女性の産む力や子どもの生まれる力を最大限に引き出し、女性と子どもの正常性を高める助産ケアや、ハイリスク妊産婦・新生児への的確なケア、地域で生活する母子と家族への助産ケアを始め、女性の一生の健康を支える助産実践力の強化を目指します。命を未来に繋ぐプロフェッショナルとして成長していく力を獲得していきましょう。

学長メッセージ



学長
早川 正幸

地域社会に貢献できる助産師の養成

我が国においては、少子高齢化が加速的に進行しており、本県においても合計特殊出生率の低下、人口の減少は大きな問題となっています。このような中で、安心して子どもを産み、育てることのできる環境の整備が求められています。

本学では令和7年4月「助産学専攻科」を開設しました。高度な専門的知識・技術を教授し、人に温かく寄り添える助産師を育成する課程です。充実したカリキュラムと実践的な学びの機会を提供し、地域社会に貢献できる助産師の育成に努めてまいります。

専攻科長メッセージ



専攻科長
平田 良江

助産師を目指し、共に成長しましょう

本学の助産学専攻科は、自ら学ぶ姿勢と専門職業人としての自覚と責任を持ち、科学的根拠に基づいた実践力と人間性豊かな助産師の育成を目指しています。女性の生涯に寄り添い、母子と家族の健康に貢献することは、社会にとっても非常に重要な使命です。

経験豊かな教員による指導と、実践的な臨地実習を通して、確かな知識と技術、そして共感力を備えた助産師を育成していきます。助産の道を志す皆さんが、ここで大きく成長されることを心より願っています。

助産学専攻科の理念

本学助産学専攻科は、本学の理念を基盤とし豊かな人間性、適切な判断力と高い助産実践能力によって母子と家族に適切なケアを提供できる助産師を育成します。

また、ウィメンズヘルス全般を支援する能力を養い、母子保健および助産実践活動の発展に寄与する自立した助産師を育成します。

教育目標

1. マタニティサイクルにおける母子および家族への適切な助産ケアを提供するために必要な専門的知識と助産診断能力、助産技術を有する助産師を育成します。
2. 地域における母子と家族のニーズを把握し、妊娠期から子育て期までの継続したケアを実践できる助産師を育成します。
3. 女性のライフステージ各期における健康を支援する助産師を育成します。
4. 多職種と協働し問題解決のために行動することができる助産師を育成します。
5. 文化や価値観の多様性を理解し、柔軟性をもって対応できる助産師を育成します。
6. 専門的自律能力を発揮し、生涯を通じて自己研鑽することができる助産師を育成します。

2026年度 授業科目

領域名	科目名	単位数
助産学基礎領域	助産学概論	2
	周産期治療学	1
	女性疾病治療学	1
	ウィメンズヘルス	1
	助産新生児医療論	1
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ（指導・相談）	1
	助産診断・技術学Ⅱ（妊娠期）	2
	助産診断・技術学Ⅲ（分娩期）	2
	助産診断・技術学Ⅳ（産褥期・新生児期・乳児期）	2
	助産診断・技術学Ⅴ（ハイリスク）	1
	助産診断・技術学Ⅵ（演習）	3
	助産管理学	2
	助産地域活動論	2
	助産学実習	5
	助産継続援助論実習	2
	助産管理学実習	1
	地域助産学実習	2
	ハイリスク実習	1
助産学研究領域	助産学研究	2
合計		34

実習施設

- ・山梨県立病院機構山梨県立中央病院
- ・市立甲府病院
- ・山梨市立産婦人科医院
- ・山本助産院（横浜市）
- ・いぶきの助産院（静岡市）
- ・まき助産院（静岡市）
- ・助産院 Maman to Be' be'
- ・山梨大学医学部附属病院
- ・健康科学大学産前産後ケアセンター
- ・甲州市塩山保健福祉センター
- ・南アルプス市健康増進課
- ・このはな産婦人科

年間のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講義 学内演習 筆記試験 技術試験			助産学実習 助産継続援助論実習 ハイリスク実習				地域助産学実習 助産管理学実習		集団健康教育・相談		
									実習まとめ 国家試験準備		
助産学研究								研究発表			

取得できる資格

- ・助産師国家試験受験資格
- ・新生児蘇生法 B コース修了認定（3月）

修業年限・募集人員

修業年限	1 年
募集人員	7 名（一般枠 3 名、本学枠 3 名、山梨県内枠 1 名）

※ ① 本学枠又は山梨県内枠に出願した者は、併せて一般枠に出願したものとして取り扱います。 ② 山梨県内枠への応募者がいない場合には、山梨県内枠を本学枠に振り分けます。 ③ 一般枠・本学枠には令和8年3月に大学卒業見込み者も含まれます。

入試情報

出願期間	令和7年9月10日(水)～令和7年9月19日(金)
入学試験日	令和7年10月18日(土)
合格発表	令和7年11月4日(火)
入学手続き	令和7年11月4日(火)～令和7年11月13日(木)

※ 入学者選考：専門科目試験、出願書類と面接による評価等を総合的に判断して行います。試験日やスケジュール等については、募集要項をご確認ください。

入学料及び授業料等

		県内在住者 (注1)	県外在住者
学 費	入学料	169,200円	282,000円
	授業料	年額 535,800円 (注2)	
諸経費	テキスト代、実習に伴い諸経費（実習衣、実習に係る消耗品代、実習に係る旅費、宿泊費、保険料など）は個人負担となります。		

注 1) 入学の日の 1 年前から引き続き山梨県に住所を有する方をいいます。

注 2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。



在校生からのメッセージ



知識が身につくことの楽しさ

2025 年度入学（一期生） 安里 夢さん

私は、ハイリスク妊産婦にも対応できる知識と技術を身につけ、女性の力を高めることのできる助産師を目指したいと思い、本学の助産学専攻科を受験しました。日々学ぶことはたくさんあり大変ですが、授業は少人数なので発言しやすく、わからないことは主体的に調べて仲間と共有することで知識が身についていくのが楽しいです。本学で私達と一緒に助産師になる夢を叶えましょう。

助産師になるという夢に向かって

2025 年度入学（一期生） 佐藤 友羽さん

私は、山梨県内の大学を卒業し、専攻科に入学しました。住み慣れた地で助産を学ぶことができ、とても充実した日々を送っています。同じ志を持ったメンバーの7人と活発に意見交換をしながら学ぶことができ、入学してよかったと強く思っています。実習では、確実に10例の分娩介助を実施できることが魅力的だと思います。助産師になるという夢に向かって、知識や技術を学ぶ日々はとても楽しく、恵まれた環境だと感じています。



学びを深め合うことができる環境

2025 年度入学（一期生） 鈴木 帆乃夏さん

一人ひとりの女性とのパートナーシップを築き、寄り添うことができる助産師を目指しています。そのために、周産期の母子に留まらず、女性の一生を通じた健康について幅広く学べる専攻科に入学しました。様々な先生方の講義を通して、ひとりの対象者を多角的に捉えることの大切さを日々実感しながら学んでいます。学ぶことが多い毎日ですが、同級生と協力しながらお互いに学びを深め合うことができる環境です。

自分自身の成長を実感できる場

2025 年度入学（一期生） 村松 美穂さん

助産師として、女性と赤ちゃんに深く寄り添い、地域に根差した助産に携わりたいという思いで進学しました。入学当初は、授業についていけるか不安でしたが、同じ目標をもつ仲間と支え合い、命と真剣に向き合う学びの中で自分自身も成長を実感しています。親身で温かい先生方のサポートも心強く、一人じゃないからこそ頑張れる毎日があります。助産師を志すあなたが、この学び舎にて成長されることを心から応援しています。



教員からのメッセージ



助産師をめざすために本学専攻科への進学を検討中の皆さん、こんにちは。私たちは山梨県立大学助産学専攻科の教員です。看護学の学びの上に助産師になるための学修の機会を得ようという決断は、あなたの今後のキャリアや人生に大きく深い意味をもたらすでしょう。

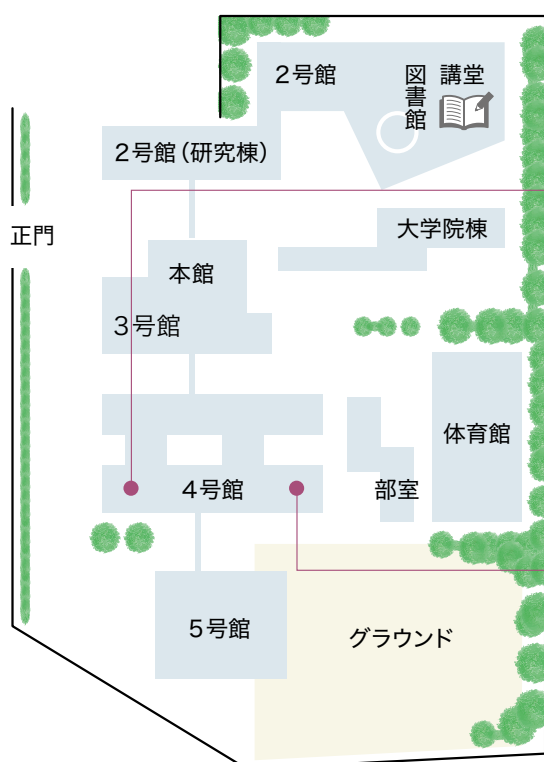
助産学専攻科では、助産師としての的確な判断力と高い助産実践力を身に付けられるよう、魅力あふれるカリキュラムを用意して皆さんをお待ちしています。同じ志を持った仲間たちと協力し合い、1年間目標に向かって頑張ってみませんか。私たち教員一同4月に皆さんとお会いするのを楽しみにしています。



山梨県立大学助産学専攻科



池田キャンパス MAP



助産実習室



講義室

山梨県立大学
キャンパス・キャラクター
やまちゃん





県外からの
アクセスも
良好

新宿から 120 分
松本から 90 分



池田キャンパス

〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1
TEL.055-253-7780 FAX.055-253-7781

アクセス ◎ JR 甲府駅南口バスターミナル4番のりば から

- 中央病院経由双葉ニュータウン行き
「県立大学看護学部」
下車②徒歩約3分
- 長塚経由双葉ニュータウン行き
● 長塚行き
● 長塚経由敷島営業所行き
「甲府城西高校」
下車③徒歩約5分
- 中央病院行き
● 中央病院・羽黒経由山宮循環行き
「県立中央病院」
下車④徒歩約8分

表紙の絵は、山梨県立大学看護学部卒業生の武原遥さんが書いてくださいました。

